

# 図書館だより

92



©図書館振興財団

## 「調べた!」を ありがとう!

### ～西東京市 図書館を使った 調べる学習コンクール & 「調べる」応援フェア～

図書館では今年から、調べる学習を  
応援する新しい取り組みを始めました。  
それが、市内の小学5・6年生を対  
象とした「西東京市 図書館を使った  
調べる学習コンクール」(以下、調べ  
るコンクール)。

初めての試みでしたが、力の入った  
多くの「調べた!」が集まりました。

※調べるコンクールの  
詳しい内容については、▶  
こちらをご覧ください。



調べるコンクールに集まった作品の一部。



全国コンクールの審査基準に  
基づいて9人の司書が一次審査。  
選ばれた作品は審査会に進み、  
教育長らの審議の結果2作品が  
受賞となりました!

11月5日、表彰式が行われました♪



受賞作品は、次のページにて見開きで紹介!

夏休みの質問で  
多いのは昆虫や  
宇宙などの自然  
科学系。今年は  
SDGs もよく  
きかれました。

©図書館振興財団

★声の広報をお届けしています。

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(Tel.042-421-4545)へお問合せを。



夏休みに合わせて、  
「調べる」応援フェアを開催しました。



調べもののお手伝い(レファレンス)は  
もちろん、調べものに役立つ本の展示も。



©図書館振興財団

受賞者の2人に聞きました!

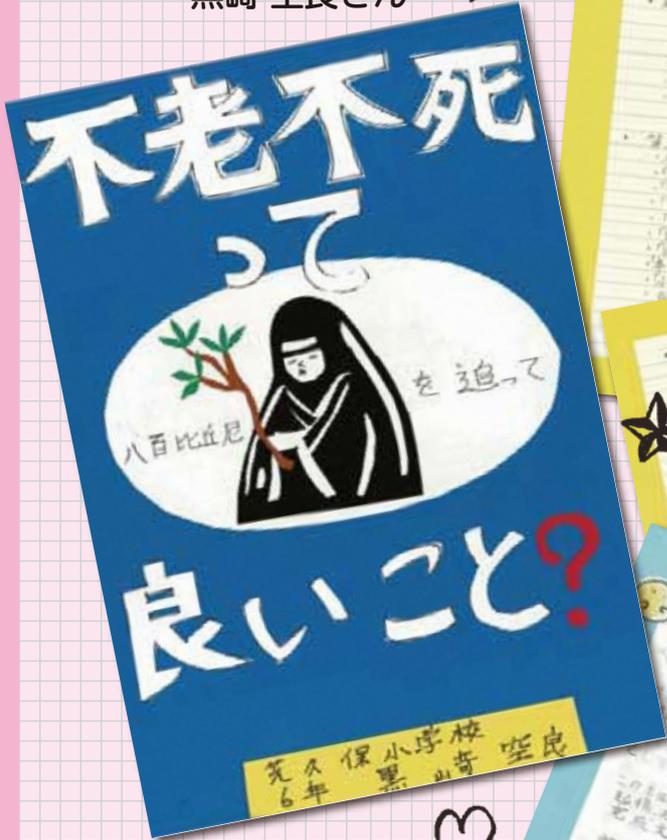
- Q1. 頑張ったこと・工夫をしたこと
- Q2. 難しかったこと・大変だったこと
- Q3. 来年以降、“調べる”に挑戦する人へアドバイス

# 第1回 西東京市 図書館を使った調べる学習コンクール

## 教育長賞

### 不老不死って良いこと? 八百比丘尼を追って

芝久保小学校 6年  
黒崎 空良さん



文章をまとめるのも  
大変だった!



### A2.

古い書物から目当てのものを  
探し当てること

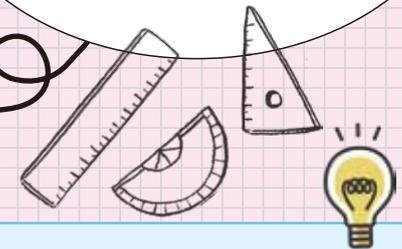
### A1.

- ・色々な図書館・場所に行った
- ・たくさんの本から探した

キャラクターを作って  
読みやすくした

### A3.

- ・7月中にページ割を決めておくといい
- ・資料を探るときは、国立国会図書館のWEBページをたくさん使いました



黒崎さんが使った、**国立国会図書館デジタルコレクション**は、貴重な古い本等が無料で読めるオンラインデータベースです。

西東京市中央図書館では、印刷することもできます。



＜西東京市「縁」講演会＞ 令和5年9月2日(土)柳沢公民館 視聴覚室

## 『西東京市の自然地理—都市水害とヒートアイランド—』開催しました

講師 はら よしお 原 芳生さん (大正大学名誉教授)

近年都市に特有の環境問題として注目を集め、大気に関する熱汚染とも言われている「ヒートアイランド現象」。自然環境の地域的差異に基づきながら、現在の西東京市で配布されているハザードマップを駆使して、ヒートアイランド現象とゲリラ豪雨の関連性（メカニズム）を紐解きました。

参加した方からは「大きな地理学という概念から始めて、身近な田無などの地域の問題に迫る、大変興味深く分かりやすい講演で非常に勉強になりました。」「ヒートアイランドとゲリラ豪雨の関連について、図による説明で初めてきちんと知ることができ大変勉強になりました。」などの感想をいただきました。



＜講演会＞ 令和5年10月21日(土) 田無公民館・オンライン(zoom)の同時開催

## 「ネット情報におぼれない学び方」開催しました

講師 うめざわ たかのり 梅澤 貴典さん (中央大学職員)



スマホの普及とともに、インターネットをより便利に活用できるようになった現代において、ネット情報と上手に付き合う方法を学ぶ講演会を、会場とオンラインにて同時開催しました。

インターネットはどんな情報でも手に入るのか？ 映画『千と千尋の神隠し』のモデルとなった街は？ ChatGPT(生成 AI)の問題点は？ 玉石混交のネット情報を取捨選択するためには、一次情報（当事者が発した情報）を参照したり、基本的な知識体系を身に付けたりすることが大切です。そのために、図書館の膨大な資料や種々のデータベースを活用する方法を、身近で最新の事例をもとにお話しいただきました。

参加者の方からは、「『ネット情報は活用するけど依存しない』という言葉が印象に残った」「ネット情報は正確で手軽に得られる物という誤解を自覚して、一次情報を得るよう心掛けたい」などの感想をいただきました。

# にんにんに西東京



西東京市図書館キャラクター  
西都右京くん

## 第37回 「西東京市の文化財①」

文化財とは、歴史の中で生まれた守るべき貴重な財産のことです。お祭りや建物など様々なものが文化財として登録されていますが、西東京市内にも国、都、市でそれぞれ指定されている「指定文化財」が合計54もあります。今回はその中でも、市内で唯一「東京都指定文化財」に指定された「田無神社本殿・拝殿」を紹介します。

田無神社の由緒は、青梅街道の継場として宿が置かれた田無に人が移り住み田無村という集落が出来たことから始まります。諸説あるようですが寛文10(1670)年、谷戸の尉殿権現社から遷座され、田無村の鎮守として祀られるようになったといわれています。そして明治時代に神仏分離政策のため「田無神社」と改称しました。

現在の本殿は、安政5(1858)年に当時の名主下田半兵衛富宅が資金を出して再建したものです。大工、鈴木内匠による建築と、江戸の名工と謳われた嶋村俊表が手掛けた彫刻が全面を彩る重厚な造りが目を引きまします。  
 (※1) 入母屋造りの銅板葺きで総檜、組み物は(※2) 三手先という、江戸時代を代表する神社の建築様式です。建築技法も然ることながら、目を見張るのはやはり本殿全体に

施された精巧な彫刻たちでしょう。この彫刻は一般的に江戸彫りや関東彫りと呼ばれる技法で、一枚板から削り出した継ぎ目のない立体感と、彩色を施さずに木目の風合いを活かしているのが特徴です。柱や土台に至るまで精緻な彫り込みがされており、壁面には中国の親孝行を説いた逸話である二十四孝図が彫られています。

一方で拝殿は、明治8(1875)年に地元



昔の境内の様子(昭和42年2月撮影)



現在の拝殿の様子(令和5年11月撮影)

の大工達により造営されました。同様に彫刻群が施されており、本殿を意識した仕様になっています。こちらは、拝殿内の彫刻ひとつひとつに奉納者の名前が記されている点が大きな特徴です。「拝殿」が地元の氏子や崇敬者たちによって、そして地元の大工達によって造営されることで、その信仰心の高さや地域の繋がりの深さなども感じ取ることが出来るのではないのでしょうか。

平成12(2000)年3月に東京都の指定文化財に指定された「田無神社本殿・拝殿」ですが、その後平成30(2018)年には「特に景観上重要な歴史的建造物等(建造物)」にも選定され、その歴史的価値だけでなく景観上の重要性も高く評価されています。

(※1) 入母屋造り：本を開いて伏せたような形の切妻屋根の四方に、庇を付けた形状の建築方法。日本建築の伝統的な形で、多くの社寺仏閣で見られる。  
 (※2) 三手先：深い軒の出を支える構造手法。屋根を支えるための柱頭に設ける部材を組み物といい、その中で一番立派とされている造り。

### 参考文献

- 『写真と資料から見る田無神社・御遷座三五〇年大祭記念誌』(編著:賀陽智之/企画:発行:田無神社/2022.12)
- 『西東京市の指定文化財ハンドブック』(西東京市教育委員会教育部社会教育課/2016.3)
- 『文化財の保護 第32号』(東京都教育庁生涯学習部文化課/2000.3)
- 『田無神社 本殿写真集・彫工 嶋村俊表の美』(著:賀陽濟、西濱剛、宮田亮平、中川武、伊東龍一/田無神社/1995.9)
- 『保谷の昔と村人たち・東京保谷ロータリークラブ創立25周年記念誌』(著:片桐謙/東京保谷ロータリークラブ/1999.4)
- 『田無神社・合本製本版(1)(2)』(編:田無市立中央図書館/1984.3~1985.3)

# 受賞作品をご紹介します♪



©図書館振興財団

## 優秀賞

### 夜空に浮かぶ星座とギリシャ神話

碧山小学校 6年  
渡辺 楓さん

書き上げたときは達成感でいっぱいでした！



#### A1.

- ・ どう書いていけばまとまるのか、書く内容や順番をよく考えた
- ・ 読みやすくなるよう、色を使ったり図を入れたりした

#### A2.

図書館で本を借りて読んでまとめて……期限内にまとめていくのが大変だった！

#### A3.

- ・ 自分の好きなこと・興味のあることを調べるのが一番。大変だったけど、知っていることの中にも知らないことがあって、楽しかった
- ・ 書き上げたあと、他の人に読んでもらうのいいと思う

誌面の都合上  
回答は一部割愛  
しています。  
全文は、図書館  
ホームページで  
公開しています。

#### 参考文献の書き方も



教育長賞の作品は、  
西東京市として  
全国コンクールへ  
推薦いたしました。

おめでとう！

来年の調べるコンクール、  
みなさんもぜひ挑戦して  
みてください！

調べ方がわかる  
ガイドブックも  
あるよ



西東京市  
子ども電子図書館で▶  
読めます

# 小さなアーティスト



## 「くじゃくがはねをひろげたら」

保谷第一小学校 1年生 児童共同制作

西東京市に引っ越してきたのが12年前、初めての土地で右も左も分からない中、息子と公園やプール等色々な場所に遊びに出掛け、やがて西東京が大好きになりました。中でも息子のお気に入りが西武柳沢駅前にある柳沢図書館で、通い始めることになりました。

幼児の絵本コーナーが絨毯敷きの広場になっていて、靴を脱いでのんびり絵本を見ることができるのですが、当時は大きくまのぬいぐるみが置いてあり、息子は自分より大きなそのまのぬいぐるみに寄りかかりながら絵本を見るのが大好きでした。本屋さんにはない昔の絵本や海外の絵本等、初めて見る絵本がたくさんあって新鮮だったようです。

息子が大きくなると今度は私が学校の絵

本の読み聞かせボランティアを始め、図書館に通うようになりました。読み聞かせの本を選ぶのは楽しくも難しい作業でしたが、図書館の本の豊富さに助けられました。ビッグブックもよく借りましたが、毎回1万円もする本を汚さないようにドキドキしながら運びました。ビッグブックや紙芝居を借りることができるのも図書館ならではの楽しみです。

現在は近隣の市に転居をしましたが、今でも息子が柳沢図書館に行きたがり、たまにお邪魔しています。窓の外に見える大きな木を眺めながら、のんびり好きなだけ本を見る時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。

利用者エッセイ  
わたしと  
図書館  
のんびりママ